

**製品名: ARRDC3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07167**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	46kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ARRDC3
別名	ARRDC3; KIAA1376; Arrestin domain-containing protein 3; TBP-2-like inducible membrane protein; TLIMP
遺伝子 ID	57561.0
SwissProt ID	Q96B67
免疫原	抗血清はヒト ARRDC3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 365-414

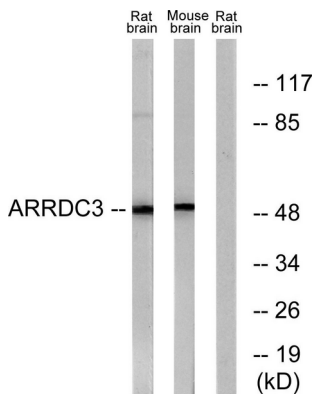
**背景**

この遺伝子は、G タンパク質を介したシグナル伝達を制御するアレクチンファミリータンパク質のメンバーをコードしています。

コードされているタンパク質は、腫瘍関連抗原であるインテグリン  $\beta 4$  のリン酸化型に結合し、インテグリンを標的として内在化および分解することで、乳がんの増殖および進行を制御する因子として作用すると考えられています。[RefSeq 提供、2016年7月]誘導：前骨髄球性白血病 HL-60 細胞において、トログリタゾンおよびピオグリタゾン（選択的 PPAR $\gamma$  アゴニスト）、プロスタグランジン J2 (PGJ2)、L165,041 (PPAR $\delta$  リガンド)、ビタミン D3、そしてより少ない程度ではあるが PMA (ホルポールミリスチン酸酢酸) によって誘導されます。レチノイン酸およびクロフィブラート (特異的 PPAR $\alpha$  作動薬) による誘導は認められない。類似性：アレスチンファミリーに属する。細胞内局在：細胞膜、ならびにエンドサイトーシス中のエンドソームおよびリソソームに局在する。サブユニット：TXN (チオレドキシン) には結合しない。組織特異性：骨格筋、胎盤、腎臓、副腎、リンパ節、乳腺、甲状腺、気管で高発現する。結腸、胸腺、脾臓、小腸、膀胱、骨髄では非常に低発現する。分化脂肪細胞では、前脂肪細胞と比較して強い発現を示す。

## 研究分野

## 画像データ



ARRDC3 抗体を用いたラット脳およびマウス脳細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。